

卒然

尾

胴

首

① 始計

― 戦争をするか、しないかの判断
「五事」を知り、「七計」で我に利があるか
この際、「勢」と「詭道」について考慮

我に利あり ↓ 敵を屈服させる(目的)

② 作戰

用兵の利害
長期戦を避ける
食糧は敵地で調達
敵に勝ちて強を益す

③ 謀攻

敵を全うする
◎ 戦わずに屈服させる
○ 戦って勝つ
彼を知り己を知らば、
百戦して危うからず

「戦って勝つ」ためには……
まず、『戦いの原理・原則』を理解する

④ 軍形

守勢と攻勢
道を修め法を保つ
態勢見積(廟算)

⑤ 兵勢

編成と号令
奇と正
勇怯と勢い

⑥ 虚实

集中と分散
主動と受動
敵情の解明

次に、『勝つための戦術・戦法』を考える

⑦ 軍争

迂直の計
軍争の法
気心力変四治

⑧ 九変

九変の利 将の変
利害得失
将の五過

⑨ 行軍

四軍の利
三十三相の法
敵を料る

⑩ 地形

地の道(地形の常)
敗の道(将の過ち)
上将の道
天を知りて
地を知れば、勝

⑪ 九地

地勢の変・主客の勢
率然・将軍の事
屈伸の利・人情の理
霸王の兵・敵を騙す
乃ち全うすべし

⑫ 火攻

五火の変法
水攻め
国を安んじ軍
を全うする道

⑬ 用間

― 兵法の要、全軍の行動を可能にするもの
「先に知る」必ず人に取りて敵の情を知る

情報要求 ← 道・天・地・将・法の細目 ←

地を知り
天を知る

敵を知る

我を知る

我を知り
敵を知り
地を知り
天を知る

因間 内間 反間 死間 生間 五間ともに起して、其の道を知るなし

第一篇 始 計

戦争とは国家の大事

— するか、しないかを慎重に判断

五事 — 兵法の根源であり、常に考慮

(敵)(我)
道
天
地
将
法

七計 — 我と敵を比較し実情を把握

- ① 君主(道理)
- ② 将軍
- ③ 天の時・地の利
- ④ 法令
- ⑤ 兵器・民衆
- ⑥ 兵士
- ⑦ 賞罰

我に利があるか？

なし
あり
あり

負ける戦争をしない

廟算 || 作戰会議
幅広く議論を重ねて漏れの無い作戰
を数多く立てる (算多きは勝つ)

勝算あり ↓ 開戦

不確定要素

偶然性

勢 || 臨機応変の処置

(機転を利かす)

勝つ || 敵を屈服させる(目的)

算(作戰)

五事七計の利

兵とは詭道なり
詭道 = 変化に応じ勝ちを取る術

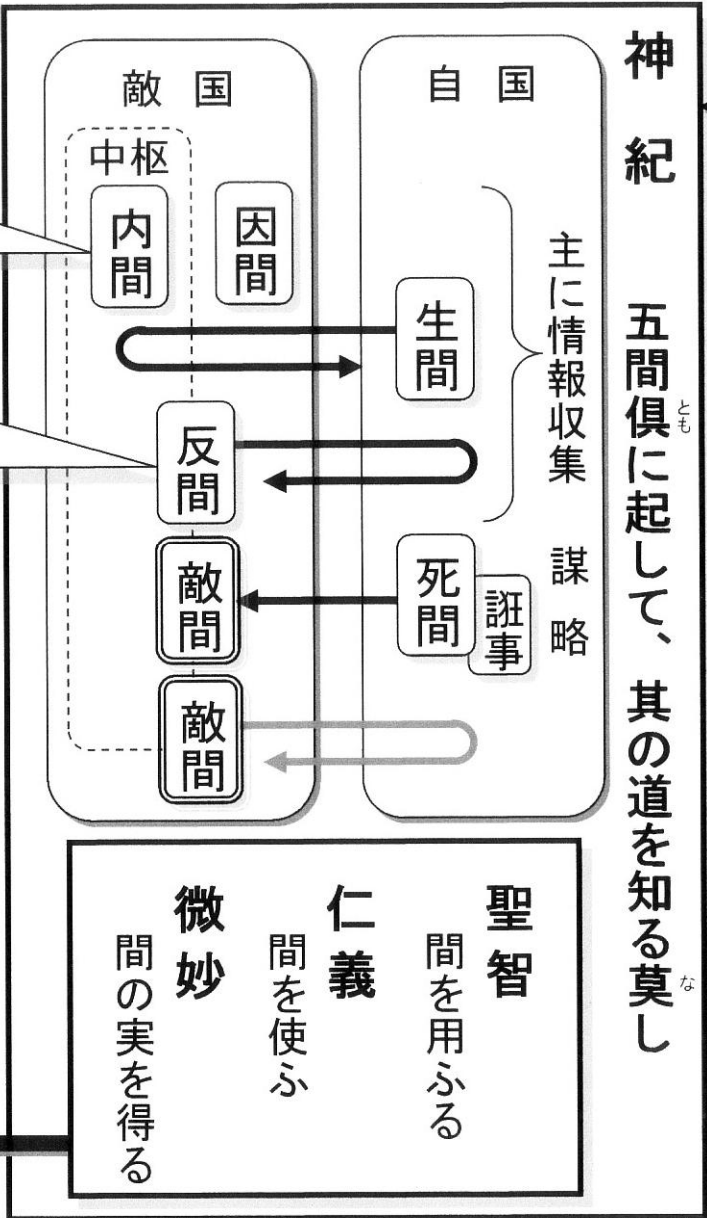
開戦前 — 国内
(準備段階)

開戦後 — 戦場
(実行段階)

第十三篇 用間

先に知る

- ・明君賢將の動きて敵に勝ち、成功の衆に出でし所以ゆえんの者は、先に知ればなり。
- ・先に知る者は、必ず人に取りて敵の情を知る者なり。



・必ず先ず其の守將・左右・謁者・門人・舍陣の姓名を知りて、吾が間をして必ずこれを索もとめ知らしむ。

五間の事を知るは、必ず反間に在り

- ・必ず敵人の間来たりて我を間する者を索め、因りてこれを利し、導きてこれを舍す。
- ・反間は厚くせずんばあるべからず。

明君賢將 能く上智を以て間と為す者は、必ず大功を成す。此れ兵の要、三軍の恃たのみて動く所なり。